



VALORIZE ROTARY
COM
FÉ E ENTUSIASMO

ロータリーを高めよ 思いを尽くし熱意を尽くし

1990-91年度国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 パウロV.Cコスタ ●第256地区ガバナー 原 猛
 - 会長——小林九満太 ●副会長——渡辺 宏策 ●幹事——斎藤 弘文
 - SAA——渡辺 喜彦、五十嵐 力 ●例会日——毎週水曜日 12:30～
 - 例会場——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
 - 事務局——三条市旭町2-5-10 TEL 35-3477
- (FAXも同番号 午後3時以後はFAXに切り替わります)
- クラブ会報委員——渋谷 正一、金沢 興宗、木許 紘一、池田 千秋

出席者会員数	会員 76名中 50名
先々週出席率	87.67% (前年同期 95.77%)
今日のお花	赤色チューリップ、黄色チューリップ、マーガレット
ヴィジター	三条北より 落合益夫君、外山晴一君 三条南より 丸田肇一君 燕より 小林栄三君
先週のメイクアップ	4/4 ローターアクトへ 清水良一君、小柳恵司君 4/4 見附へ 榎本 勝君 4/8 三条南へ 五十嵐総一君、長谷川有美君、藤田紘一君、 近藤雄介君、熊倉昌平君 4/9 三条北へ 野村竹三郎君、村木 修君、細井増雄君、 渋谷健一君、五十嵐晋平君、大谷幸平君、 五十嵐総一君、広岡豊作君

会長挨拶 小林(九)会長

7日の日曜日に行われた県会議員選挙では皆さんの推させた自民党の2候補が仲よく当選されておめでとうございます。

21日投票の市長と市議員の選挙がございます。市議員はともかく、市長選は1つの椅子を廻って4人が名乗りを上げ、激しい運動が行われて居ります。県議選の結果からやや判然して来たのではないかと噂もございます。しかし選挙は水もの、運動にたづさわっている方々は最後まで気をゆるめず頑張ってくださいと存じます。そして皆様の意中の人が当選されることを祈ります。

【幹事報告】 斎藤(弘)幹事

◎国際ロータリー第256地区協議会開催のお知らせ

- ・とき 平成3年6月15日(土)～16日(日)
- ・ところ (第一日) ふじや会館
(第二日) 太田市民会館、ホテルサンルート太田、太田第一生命ビル
- ・義務出席者 (第一日) 次年度地区役員、会長、幹事、ロータリー財団委員長
(第二日) 次年度地区役員、会長、幹事、クラブ奉仕委員会、
職業奉仕委員長、社会奉仕委員長、青少年活動委員長、
国際奉仕委員長、ロータリー財団委員長、米山奨学委員長、
会員増強委員長、環境保全委員長、ローターアクト委員長
以上12名

◎太田南ロータリークラブより 「ロータリー財団セミナー開催のお知らせ」

- ・とき 平成3年6月15日(土) 11:00～15:00
- ・ところ ふじや会館
- ・義務出席者 次期会長、幹事、ロータリー財団委員長

【新入会員紹介】

川口浩一 会員

(株)新潟放送三条支局 支局長
昭和17年11月7日生
家族構成：妻、母、二男
趣味：ゴルフ



ニコニコボックス ¥20,000

- 小林(九)君 BSN川口市局長の入会を歓迎して。
- 渡辺(宏)君 新会員川口君を歓迎して。
- 斎藤(弘)君 県議選、大変良い結果で喜んでおります。
- 鈴木君 商工会議所の杭打ち工事が始まりました。喜んでおります。
本日卓話をさせていただきます。
- 銅治君 4月6、7日と日本医学総会で京都に行って来ました。
- 高橋(一)君、五十嵐(晋)君
皆様のお陰でスベリコミセーフでした。ありがとうございました。
- 加藤(紋)君 BSN川口浩一様の入会を記念して。
- 近藤君 県議選無事終了致しました。ありがとうございました。
- 渡辺(勝)君 長女が婚約、オーストラリアに旅立ちました。
- 五十嵐(力)君 この度の県議会議員の選挙に滝口恵介が、皆様のご支援で当選させていただきました。後援会長として厚くお礼申し上げます。
- 平原(信)君 今月は雑誌月間です。鈴木宗資会員に卓話をお願いしました。一委員より。
- 木許君 上の娘が今年高校に入学致しました。
- 川口君 今日から入会しましたBSNの川口です。これからよろしく願います。

ロータリー財団ボックス ¥9,000

- 木許君 上の娘が高校に入学しました。
- 長谷川君 伴が大学を卒業しましたが、これから2年間、車の専門校で勉強させる事になりました。
- 五十嵐(力)君 4番目の娘がこの度大学に入学しました。4月7日、東京の武道館での入学式に出席しました。
- 滝沢君 孫が小学校入学しましたので。

3月20日、東京の日本商工会議所で日商の総会が開催された。

石川会頭及び中尾通産大臣の講話があったが紋切型で面白くなかった。

会議の途中に中曽根前総理が来会され表記の問題につき約一時間の講演があった。

中曽根さんは小会派の領袖であったので、いつも人の顔を見ながら政策を決めて来たので風見鶏とあだ名されて来ました。

目立ちたがりやの彼は座禅を組んだ写真を撮らせたり、ホテルのプールで泳いだり、恰好をつけるのが好きな人であった。歴代の首相の中では最も外交通であり、ゴルバチョフ、サダムフセイン共面式があり、欧米首脳とも親交が深かった。

此の講演会で聞いた話をメモって来ましたので、そのメモを見ながら中曽根さんの講演要旨をお話し致します。

・サダムフセイン

サダムフセインは中東制覇を目指した野心家であり、革命家である。

又、駆け引きの強いバザール商人でもある。外交上の話でも10倍位にふっかけて来るのでこちらも10分の1位の所から交渉を始めて段々歩みよるのが彼との取引きである。

そんな彼であったので、側近以外からは情報が入らず一人よがりの人間であった。

情報不足からアメリカのハイテク技術兵器の実力を知らず、又、ソ連をも過信しすぎたようだ。これが今回の戦争の大敗北に繋がった。

アメリカは現在も尚、イラクの隣国イランとは国交断絶状態なのでイラクを徹底的に叩く事はイランを有利にするのでイラク侵入後鮮やかに停戦してしまった。

イラクの今後については予測されなかった。

・クウェート

外国から1億円もの利息収入がある国だから復興は早いだろう。

現在迄施行されて来た絶対君主制は将来問題がある。

首長国連邦（アブダビ、ドバイ等）やサウジアラビアの王政にも問題がある。

・イスラエル

近隣アラブ諸国と個別に話し合いに入り、占領地を返還し、此の国の存在を承認させねばならない。

シャミル政権の勇気ある友好的外交の展開が期待される。



・イギリス

戦勝国の一員であり、日本からの據出金の1割9億ドルを貰い、軍需産業も取敢えず、繁忙なので一息ついた様である。

・フランス

可もなく不可もなく当分日和見状態が続くだろう。

・西ドイツ

日本と共に湾岸戦後小切手を支払う為の会計係になった。

東ドイツとの合併を果す為、ソ連に莫大な援助をしてしまった。

東ドイツの復興は進まず、本年2月頃からインフレが起り、マルクは大暴落、東ドイツの製品は粗悪で輸出不能、集金のおぼつかないソ連への輸出を余儀なくされていた。

ECへの発言力は弱くなり、ECの統合も遅延される事になるかも知れない。

東ドイツの合併は早すぎた。

・ソ 連

総選挙の直後で詳細の事はわからないがゴルバチョフ、エリツイン両氏の傷み分けと判断される。

国論の不統一経済の破たん、イラク戦に使用された兵器は劣悪でソ連の恐威は薄らいだ。

世界の安全保障の枠組みが替り、核抑止力の均衡が崩れた。それでも沿海州からワシントン攻撃出来るのはソ連だけだから、依然として軍事大国である。ソ連のスカットミサイルはマッハ3で、アメリカのパトリオットはマッハ5で大方迎撃可能と考えられ、アメリカの優位は確立した様である。

・アメリカ

ブッシュの素早い決断での大勝利であり、ハイテク兵器の勝利であった。アメリカはバンカーからピン寄せして大なる自信を獲得した。

